2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社オカムラ食品工業　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2938　　URL　http://www.okamurashokuhin.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長兼CEO　（氏名）　岡村　恒一
問合せ先責任者　（役職名）　取締役兼CFO　（氏名）　谷口　耕太　（TEL）03-3666-2333
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	11,568	36.9	1,623	41.2	1,491	19.7	1,088	25.9
2026年６月期第１四半期	8,450	3.2	1,149	△5.4	1,246	7.9	864	△6.7

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　1,223百万円（△4.6%）　2026年６月期第１四半期　1,282百万円（3.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	21.60	21.52
2026年６月期第１四半期	17.48	17.34

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	64,070	20,759	32.4
2026年６月期	60,639	19,719	32.5

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　20,750百万円　2026年６月期　19,710百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	4.00	―	4.00	8.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		4.00	―	5.00	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,333	13.1	4,365	12.7	3,835	△5.5	2,714	△2.5	53.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	50,422,400株	2026年６月期	50,311,340株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	1,080株	2026年６月期	1,080株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	50,410,400株	2026年６月期１Ｑ	49,482,624株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲示いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
第１四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（収益認識関係） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の経営成績の概要は次のとおりです。

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続いているものの、中東情勢や自然災害の影響、金融資本市場の変動など、景気を下押しするリスクに留意が必要な状況となっています。一方で、当社グループの主な事業地域である東南アジアの経済環境は、内需外需に支えられ、概ね堅調に推移しました。

当社グループの事業につきましては、国内養殖事業において、泊川中間養殖場（秋田県）が稼働開始するとともに、三厩海域（青森県）へのバージ船の設置を完了しました。また、海外卸売事業については、東南アジア諸国の堅調な需要を背景に、事業の拡大傾向が継続しています。当第１四半期連結累計期間は、海外加工事業において原料価格の上昇に対する価格転嫁が追い付かず営業利益が減少したものの、国内加工事業の主力製品であるいくら製品について、需給環境を背景に販売単価が高水準で推移したことで販売額が増加し、全体としては概ね順調に推移しています。

その結果、売上高は11,568百万円(前年同期比136.9%)、営業利益は1,623百万円(前年同期比141.2%)、経常利益は1,491百万円(前年同期比119.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,088百万円(前年同期比125.9%)となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（養殖事業）

国内においては、前期の水揚量減少、早期出荷に伴い当期の冷凍製品の販売数量が減少したほか、小型サイズが多く原価率が上昇しました。一方、海外においては水揚量の増加が見込まれているものの、飼料費の上昇等による製造原価の増加を反映して利益率が低下しました。

なお、養殖事業には国際財務報告基準（IFRS）を採用する海外子会社が含まれている関係上、養殖事業の損益には、IAS第41号「農業」に従った売却コスト控除後の公正価値により評価した結果（売上原価△505百万円）が含まれております。

以上の結果として、売上高は1,235百万円(前年同期比90.9%)、セグメント利益は427百万円(前年同期比76.6%)となりました。

（単位：百万円）

売上高		1,235
営業費用	材料費、人件費、販管費等	1,313
小計（公正価値評価損益を除いたセグメント損益）		△77
営業費用	公正価値評価損益	505
合計（セグメント損益）		427

（国内加工事業）

いくら、筋子については、北海道秋鮭不漁等による国内原料不足により販売価格相場が上昇する中、当社は一定の在庫を確保していたことにより、取引先に安定して製品の供給ができたことで販売量が堅調に推移いたしました。また、販売単価の見直しや相対的に利益率の高いいくら商品の販売割合が増加したこと等により利益率は改善しています。

以上の結果として、売上高は4,097百万円(前年同期比161.6%)、セグメント利益は965百万円(前年同期比207.7%)となりました。

（海外加工事業）

海外卸売事業向けの販売増等や製品値上げにより売上高は増加したものの、原料価格の上昇に対する価格転嫁が追い付かなかったことから、利益率が低下しました。

以上の結果として、売上高は4,156百万円(前年同期比132.4%)、セグメント利益は61百万円(前年同期比42.7%)となりました。

（海外卸売事業）

東南アジア諸国における日本食マーケットの拡大を背景に、当事業は拡大を続けています。当第１四半期連結累計期間においてもこの傾向は継続しており、販売量は堅調に推移しました。

以上の結果として、売上高は4,648百万円(前年同期比146.3%)、セグメント利益は353百万円(前年同期比204.1%)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態の概要は次のとおりです。

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は49,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,677百万円増加いたしました。主な要因としては、養殖事業において海外子会社の棚卸資産の公正価値評価を行ったこと等により仕掛品が2,568百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は14,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ753百万円増加いたしました。主な要因としては、養殖用設備への投資等で有形固定資産に含まれる機械装置及び運搬具が323百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、総資産は64,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,431百万円増加しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は37,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,390百万円増加いたしました。これは主に、仕入に向けた運転資金として短期借入金が3,049百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ１百万円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は43,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,391百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は20,759百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,040百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,088百万円計上したこと等により利益剰余金が887百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、連結業績予想の変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,248	7,684
売掛金	5,562	5,103
商品及び製品	10,493	9,285
仕掛品	2,464	5,032
原材料及び貯蔵品	17,062	15,858
未収入金	5,044	5,405
その他	1,044	1,227
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	46,920	49,598
固定資産		
有形固定資産	12,480	13,293
無形固定資産	435	473
投資その他の資産	801	705
固定資産合計	13,718	14,472
資産合計	60,639	64,070
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,663	1,873
短期借入金	24,292	27,341
１年内返済予定の長期借入金	1,074	1,031
未払法人税等	1,020	327
賞与引当金	－	34
株主優待引当金	148	－
有償支給取引に係る負債	4,973	5,311
その他	1,842	1,485
流動負債合計	35,015	37,405
固定負債		
長期借入金	3,934	3,856
退職給付に係る負債	143	149
その他	1,826	1,899
固定負債合計	5,904	5,905
負債合計	40,919	43,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,256	1,265
資本剰余金	2,865	2,874
利益剰余金	14,028	14,915
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,149	19,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	53
為替換算調整勘定	1,540	1,642
その他の包括利益累計額合計	1,561	1,695
新株予約権	6	6
非支配株主持分	2	1
純資産合計	19,719	20,759
負債純資産合計	60,639	64,070

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,450	11,568
売上原価	6,089	8,516
売上総利益	2,361	3,052
販売費及び一般管理費	1,211	1,428
営業利益	1,149	1,623
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	4	33
為替差益	83	－
助成金収入	27	－
補填金収入	41	28
その他	12	17
営業外収益合計	169	79
営業外費用		
支払利息	70	142
持分法による投資損失	－	1
為替差損	－	64
その他	2	3
営業外費用合計	72	211
経常利益	1,246	1,491
特別利益		
負ののれん発生益	20	8
特別利益合計	20	8
税金等調整前四半期純利益	1,266	1,499
法人税、住民税及び事業税	231	189
法人税等調整額	169	222
法人税等合計	401	411
四半期純利益	864	1,088
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	－	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	864	1,088

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	864	1,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	32
為替換算調整勘定	411	102
その他の包括利益合計	417	134
四半期包括利益	1,282	1,223
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,282	1,223
非支配株主に係る四半期包括利益	－	△0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第１四半期連結累計期間(自2025年７月１日　至2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結財務諸表計上額（注２）
	養殖事業	国内加工事業	海外加工事業	海外卸売事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,006	2,268	2,011	3,164	8,450	－	8,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	352	266	1,127	12	1,760	△1,760	－
計	1,359	2,534	3,139	3,177	10,210	△1,760	8,450
セグメント利益	558	465	144	173	1,340	△190	1,149

（注）１．セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△225百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第１四半期連結累計期間(自2026年７月１日　至2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結財務諸表計上額（注２）
	養殖事業	国内加工事業	海外加工事業	海外卸売事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	834	3,579	2,508	4,646	11,568	－	11,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	400	518	1,647	2	2,569	△2,569	－
計	1,235	4,097	4,156	4,648	14,137	△2,569	11,568
セグメント利益	427	965	61	353	1,807	△184	1,623

（注）１．セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去が71百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△255百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自2025年７月１日 至2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自2026年７月１日 至2026年９月30日）
減価償却費	355百万円	434百万円

（収益認識関係）

前第１四半期連結累計期間（自2025年７月１日　至2025年９月30日）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）	四半期連結財務諸表計上額
	養殖事業	国内加工事業	海外加工事業	海外卸売事業	計		
売上高							
日本	702	2,470	2,357	12	5,542	△973	4,569
アジア	12	64	1,117	3,172	4,367	△1,131	3,236
その他	644	－	－	－	644	－	644
調整額（注）	△352	△266	△1,464	△21	△2,104	2,104	－
顧客との契約から生じる収益	1,006	2,268	2,011	3,164	8,450	－	8,450
外部顧客への売上高	1,006	2,268	2,011	3,164	8,450	－	8,450

（注）「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。

当第１四半期連結累計期間（自2026年７月１日　至2026年９月30日）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）	四半期連結財務諸表計上額
	養殖事業	国内加工事業	海外加工事業	海外卸売事業	計		
売上高							
日本	549	3,920	2,946	2	7,419	△1,242	6,177
アジア	35	176	1,430	4,657	6,299	△1,559	4,740
その他	650	－	109	－	760	△109	650
調整額（注）	△400	△518	△1,978	△13	△2,911	2,911	－
顧客との契約から生じる収益	834	3,579	2,508	4,646	11,568	－	11,568
外部顧客への売上高	834	3,579	2,508	4,646	11,568	－	11,568

（注）「調整額」は、連結子会社間で生じた取引による売上高消去が含まれております。